

医療倫理

医療倫理

《担当者名》森元良太

【概要】

医療従事者として必要不可欠な倫理学の基本事項を習得する。前半では倫理学の基本的な内容、後半では応用的な内容について学ぶ。

【学修目標】

(一般目標)

1. 倫理的な判断能力を身につける。
2. 医療に関連する倫理的な事例を知る。

(行動目標)

1. 倫理学の基本事項を自分の言葉で説明できる。
2. 医療現場において必要となる倫理学の応用的な内容を説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	倫理学概説	倫理学の対象と課題	森元良太
2	義務論	カントの倫理主義、定言命法	森元良太
3	功利主義	選考の順位、生存の功利主義と人格の尊厳	森元良太
4	最大幸福原理と平等原理	最大多数の最大幸福、平等の原理	森元良太
5	功利主義の難点とその克服	功利主義批判の要点、行為功利主義と規則功利主義	森元良太
6	規範倫理学のまとめ	義務論と功利主義の総括	森元良太
7	医療倫理	伝統的な医の倫理から医療倫理へ 研究倫理	森元良太
8	障害の概念	障害概念、障害者政策	森元良太
9	正常と異常の区別	正常と異常の概念の変遷とそれらの現代的意義	森元良太
10	ノーマライゼーション	ノーマライゼーションの概念と歴史	森元良太
11	リハビリテーション	リハビリテーションの概念と歴史	森元良太
12	自立と生活の質(QOL)	自立についての考え方とQOL概念の変遷、自立の評価 基準とQOLの構造	森元良太
13	インフォームド・コンセント	インフォームド・コンセントの歴史、成立条件、同意 能力	森元良太
14	個人情報保護	守秘義務の考え方、守秘義務から個人情報の保護へ	森元良太
15	終末医療	積極的安楽死、消極的安楽死、緩和医療	森元良太

【授業実施形態】

遠隔授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

期末レポート 100%

レポートはルーブリック評価表にもとづいて評価する。

【教科書】

加藤尚武 著 「現代倫理学入門」 講談社 1997年

【参考書】

赤林朗 編 「入門・医療倫理」 勁草書房 2005年

小澤温 著 「よくわかる障害者福祉」 ミネルヴァ書房 2016年

【学修の準備】

授業後に配布資料を読み、復習する（80分）。また、教科書の該当箇所を熟読し、授業内容の理解を深める（80分）。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP1）生命の尊厳と人権の尊重を基本とした幅広い教養、豊かな人間性、高い倫理観と優れたコミュニケーション能力を身につけている。